Alison Brown
アリソン・ブラウン

アリソン・ブラウンは、バンジョーという楽器をアパラチアのルーツ・ミュージックシーンから新境地へと持ち出したミュージシャンであり、彼女のカルテットが奏でるブルーグラスは、ジャズのテイストに溢れ、洗練されたアコースティック・サウンドである。

バンジョー奏者として国際的にその名を知られるまでに、アリソン・ブラウンは、一風変わった道をたどっている。ハーバード大学で歴史と文学の学士号を、そしてカリフォルニア大学 (UCLA)で MBA を取得した後、一旦彼女は投資銀行の職に就いた。しかし、南カリフォルニア時代にいつも共にあったブルーグラス・ミュージックへの想いを断ち切れず、1989 年、バンジョー・プレイヤーを求めていたブルーグラス・シンガーのアリソン・クラウスの誘いを受け、ウォール街でのキャリアを捨てて、音楽の道に進むことを決意した。このような経緯もあり、1993 年に自らのバンドであるアリソン・ブラウン・カルテットを結成するまでは、アリソン・クラウス＆ユニオン・ステーションやロックのミッシェル・ショックト等と共に音楽活動を行っている。

結成以来、アリソン・ブラウン・カルテットのユニークなスタイルは、トラディショナルからメインストリームまでの多くのファンを魅了している。ケネディー・センター、ニューポート・フォーク・フェスティバル、テルライド・ブルーグラス・フェスティバル、ニューオーリンズ・ジャズ・アンド・ヘリテージ・フェスティバルなど米国内の音楽祭はじめ、ケンブリッジ・フォーク・フェスティバル（イングランド）、セルティック・コネクションズ（スコットランド）、ダブリン・ナショナル・コンサートホール（アイルランド）やヴェルビエール・ミュージック・フェスティバル（スイス）など海外の著名な音楽イベントにも招かれている。また、米国文化交流局による招聘で中南米ツアーも行っている。

1994 年に夫であるギャリー・ウェストと共にコンパス・レコード(Compass Records) を設立。コンパス・レコード・グループは、15 周年を迎えた 2009 年までに 600 以上のルーツ・ミュージックをリリース。アリソン自身は 10 枚のソロ・アルバムを録音し高評を得ている。グラミー賞に４回ノミネートされ、2001 年には、アルバム『Fair Weather』の中の 楽曲 “Leaving Cottondale” でベスト・カントリー・インストルメンタル・パフォーマンス賞の栄誉に輝いている。

アリソン・ブラウンは、現在、ヴァンダービルトのブレア・スクール・オブ・ミュージックで講師を務める他、ナッシュビル商工会議所の評議員および国際ブルーグラス音楽協会の財務担当でもある。

http://compassrecords.com/alison-brown